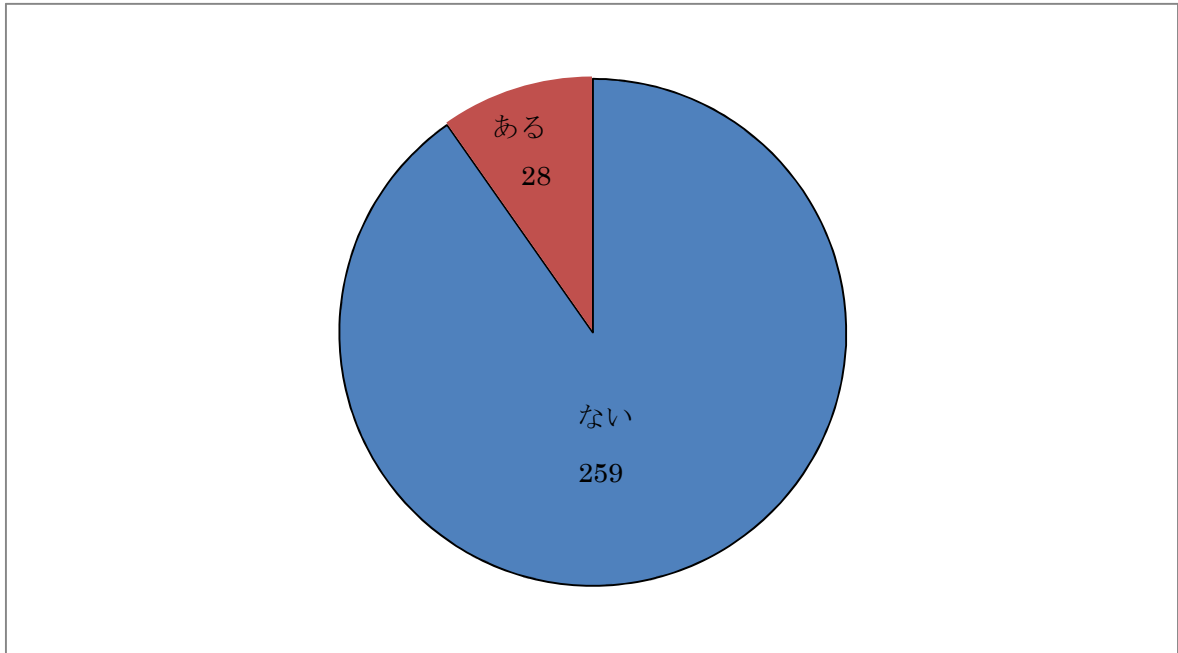


セクシュアリティについて(回答数:288)

◆設問 1

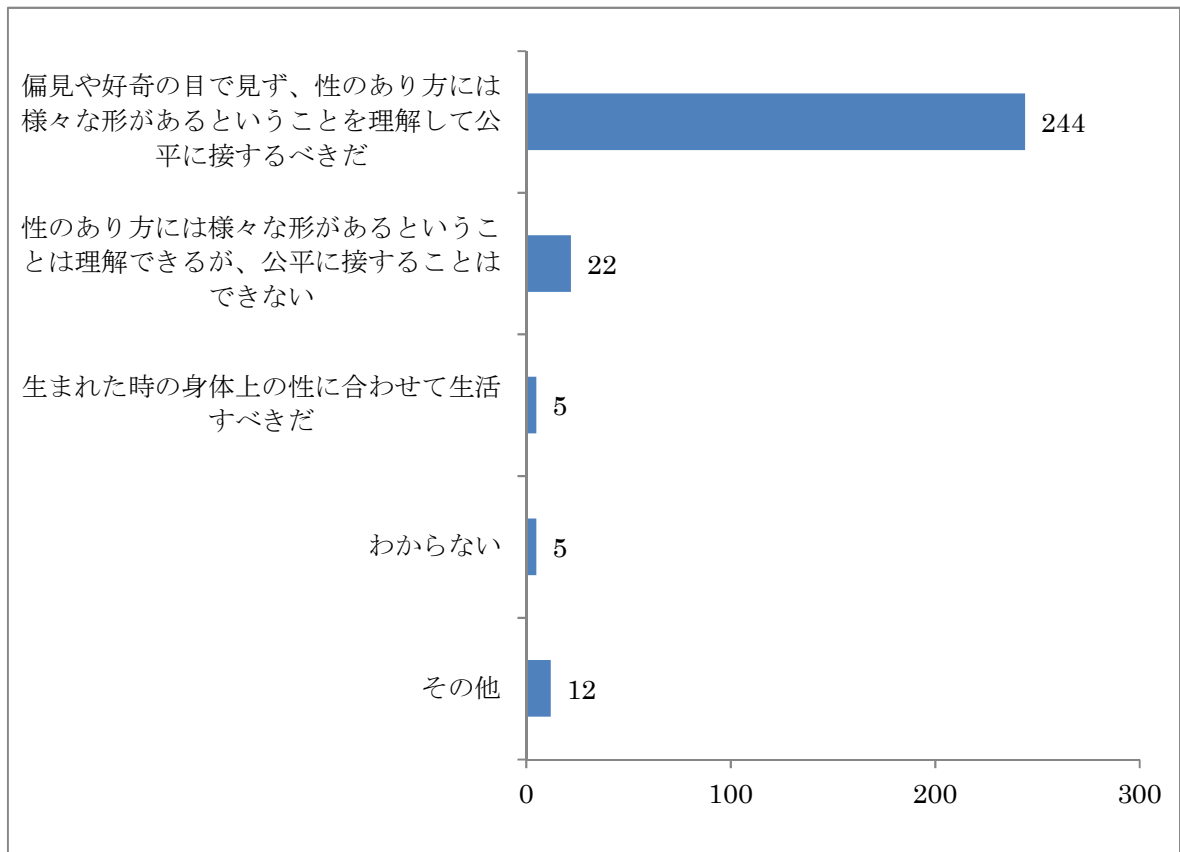
今まで自分の性別に悩んだことはありますか。



今まで自分の性別に悩んだことはあるか聞いたところ、「ある」28人、「ない」259人という結果になりました。

◆設問 2

性的（セクシュアル）マイノリティの人をどう思いますか。



性的（セクシュアル）マイノリティの人をどう思うか聞いたところ、「偏見や好奇の目で見ず、性のあり方には様々な形があるということを理解して公平に接するべきだ」244人、「性のあり方には様々な形があるということは理解できるが、公平に接することはできない」22人、「生まれた時の身体上の性に合わせて生活すべきだ」5人、「わからない」5人、「その他」12人という結果になりました。

「その他」意見（抜粋）

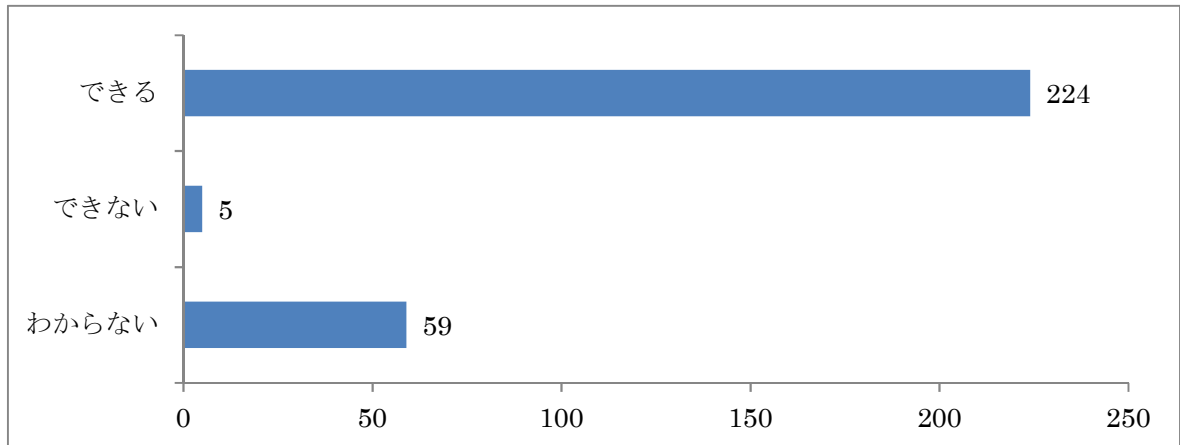
- ・恋愛対象や自身の性別は自分で決める権利があると思うが、理解を深めて欲しいからこそ、秩序のある行動も重要。
- ・自己認識が全てなので、その人がしてほしいことをする。様々な人が世の中にはいることが普通。
- ・性のありかたは人の個性だが、現在は、その考えを受け入れられない人がいることも認めていくべき。
- ・マジョリティ側は公平に接するべきだが、マイノリティ側が不当な要求をした場合はその限りではない。
- ・特に気にならない。

◆設問 3

身近な方（家族、友人など）や学校や職場内の人に、性的（セクシュアル）マ

イノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することができますか（1つのみ）

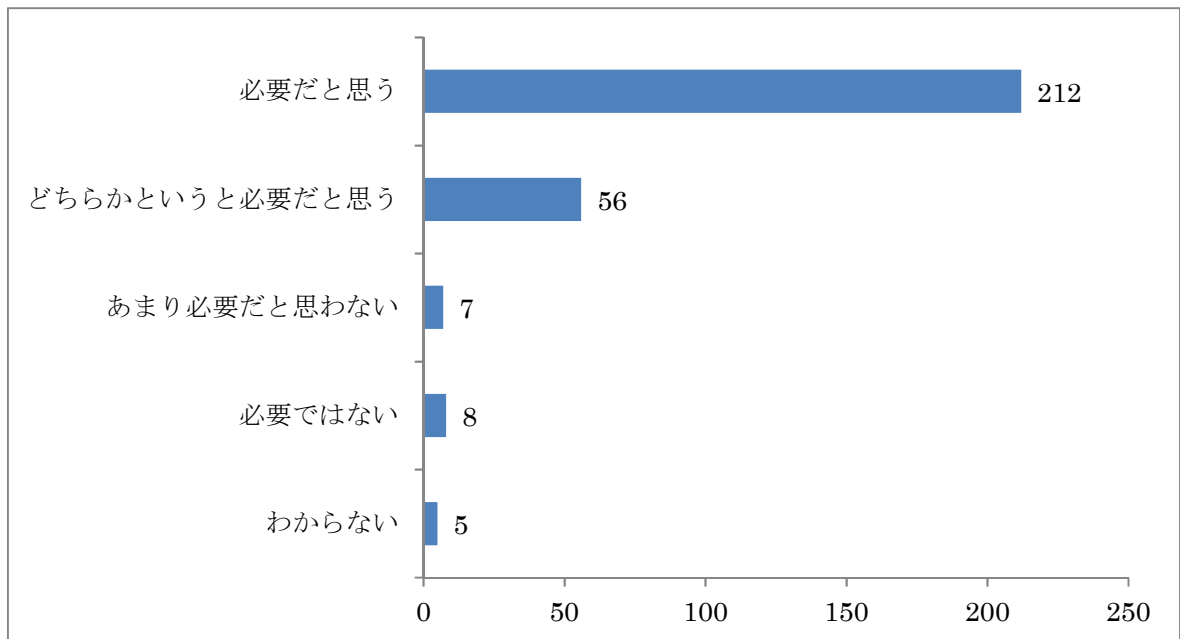
※カミングアウトとは、性的（セクシュアル）マイノリティであることを自分以外の人に打ち明けることを指します



身近な方（家族、友人など）や学校や職場内の人に、性的（セクシュアル）マイノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することができるか聞いたところ、「できる」224人、「できない」5人、「わからない」59人という結果になりました。

◆設問4

性の多様性を認め合う社会をつくるための取り組みが必要だと思いますか

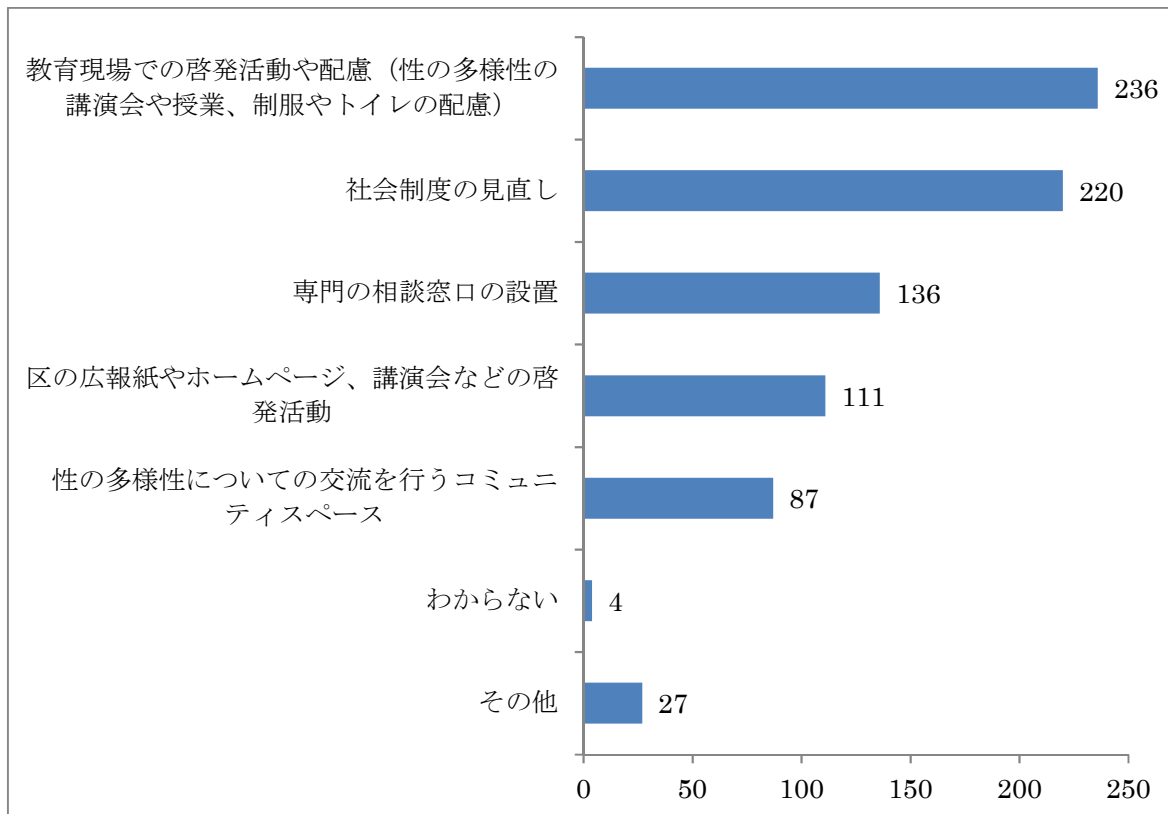


性の多様性を認め合う社会をつくるための取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「必要だと思う」212人、「どちらかという必要だと思う」56人、「あまり必要だと思わない」7人、「必要ではない」8人、「わからない」5人という結果になりました。

◆設問5

問4で、「必要だと思う」、「どちらかという必要だと思う」とお答えの方におた

ずねします。どのような取り組みが必要だと思いますか

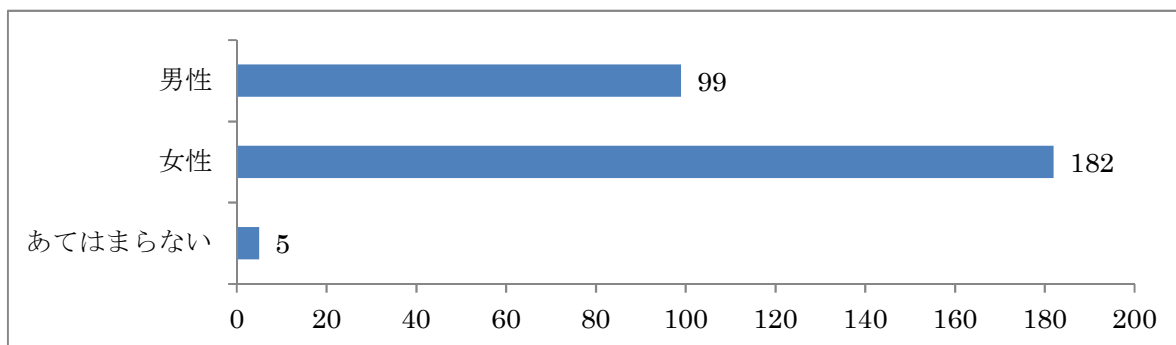


問4で、「必要だと思う」、「どちらかというが必要だと思う」とお答えの方に、どのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮）」236人、「社会制度の見直し」220人、「専門の相談窓口の設置」136人、「区の広報誌やホームページ、講演会などの啓発活動」111人、「性の多様性についての交流を行うコミュニティスペース」87人、「わからない」4人、「その他」27人という結果になりました。

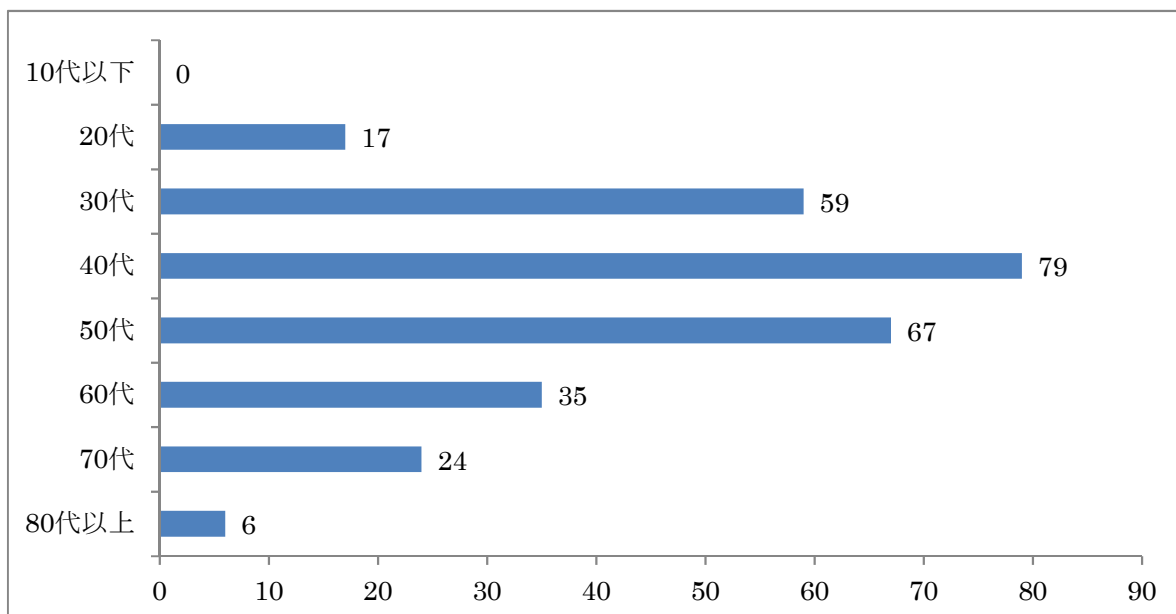
「その他」意見（抜粋）

- ・様々な差別が実在している事実に対して、どう向き合っていくべきか考える場が必要。
- ・公的立場に関わる人達への研修
- ・認めてくれる大人が居る場所
- ・「普通」「正しい」等の観念を払拭した、家庭や学校での土壌作り
- ・中高年以上の方に向けた啓発
- ・同性パートナーシップの導入
- ・企業への啓発、対応設備導入の推奨

◆F1 回答者の性別



◆F2 回答者の年齢



◆F3 回答者の居住地域

